

# 鹿児島市地区 大会運営における確認事項

令和4年8月20日更新

市バレーボールスポーツ少年団連絡協議会

鹿児島市スポーツ少年団事務局より通達された事項に基づき、市連絡協議会にて判断基準を以下のとおり明確にして実施する。

- ① 新型コロナウイルスの感染が再拡大し、行政指導等があった場合は大会を中止とする。また、その他感染状況等により中止する場合もある。
  - ② 新型コロナウイルスの感染により参加チームの団員の学級及び学校が閉鎖している場合はその団員は参加できない。
  - ③ 団員・指導者・保護者（以下「チーム関係者」という）が陽性者や濃厚接触者となった場合は、その者は療養期間、待機期間が明けるまでは参加できない。  
チーム活動内でのクラスターが疑われる（目安：1週間以内に5名以上の陽性者がでた）場合は、最後の陽性者の確認日から、症状がある場合は10日間経過するまで、症状がない場合は7日間経過するまでそのチームは参加できない。
- ※ ③ の判断と期間に迷う場合は連絡協議会（会長・事務局）へ相談すること。  
また、上記該当で不参加となる場合は必ず連絡協議会事務局へ報告すること。
- ※ 他の団員についても、参加を強制しないこと。  
また、チームの自主的判断として棄権する事は認める。
- ④ 団員等の健康管理と体温管理をより一層徹底し、以下の確認をすること。
    - 1) 大会8日前より検温と健康観察を行い、異常がないこと。
    - 2) 大会当日の検温と体調に異常がないこと。
    - 3) 大会当日のチーム関係者の「体育館入館者名簿（健康チェック表付き）」を受付時に提出し、参加可否のチェックを本部で受け、その判断に従うこと。  
「体育館入館者名簿」は別途ホームページより取得し、当日提出すること。
  - ⑤ 密の回避と入館者制限  
体育館施設への入館者上限数については、連絡協議会で定めて連絡することとする。基準を選手・指導者・保護者・応援者を合わせて1チーム30名を超えないこととする。小学校体育館使用時も同様とし、会場責任者の指示に従うこととする。  
(④ 3) 「体育館入館者名簿」にて確認する。)

## 鹿児島市地区大会における競技運営上の 新型コロナウイルス感染症の予防対策について

市バレーボールスポーツ少年団連絡協議会  
競技部

- ① 開閉会式は行わない。表彰式は、原則コート表彰とする。
- ② 個人賞は本人のみ本部へ来て賞状を受け取ること。（チームでの本部あいさつは不要とする。）
- ③ 入館者は原則として全員マスク着用とするが、体調に応じて適宜マスクを外す等の対策をすること。ただし、団員についてはアップ及び試合中は着用しなくてよい。なお、ベンチスタッフ・記録員・ラインジャッジ・点示員は原則マスク着用とするが、呼吸が苦しい状態にならないよう、必要に応じてマスクを外す等の対応をすること。
- ④ 審判チームは記録席に消毒液を準備すること。  
試合球は定期的に除菌を行い、できるだけ交換しながら使用すること。また、試合終了後、ラインフラッグ及び記録員と点示員のいすを除菌すること。
- ⑤ 試合開始及び終了時の握手はしない。（エンドライン上で一礼する。）  
コイントス時や審判の握手もしない。（一礼に変える。）  
**試合終了後、相手応援席、自チーム応援席へ整列しての挨拶はしない。**
- ⑥ ベンチのいすは6脚とする。
- ⑦ コートチェンジの際は、ベンチスタッフでベンチごと移動させること。  
また、試合終了後は選手がベンチを空けてから、ベンチスタッフがベンチの除菌をすること。除菌は、団員にさせるのではなく、指導者や育成会など大人で行うこと。

※ この他にも各会場で独自の対策をお願いする場合がありますので、ご協力をお願い致します。

### 【問合せ先】

鹿児島市バレーボールスポーツ少年団連絡協議会  
会長 中山（090-7923-1346）